

第1学年 生活科 学習指導案

1. 単元名 「いきものと なかよし」

指導者 世取 清美

2. 単元について

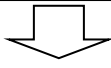
梶川 弥加

児童の実態 (児童観)

- 1学期の「おくらがわであそぼう」の学習では、保育園のお相手さんと一緒に遊ぶよさや楽しさに気付くことができた。
- 思いや願いをもって生き物に関わるなど活動することはできるが、絵や文、動作など自分なりの方法で素直に表現し伝えることはまだ十分ではない。
- 自然に恵まれた校区であり、身近な場所で生き物と関わる経験をしている児童が多い。生き物を取ったり、飼ったりするなど、生き物への興味・関心は高いが、気持ち悪いなどの理由で生き物が苦手という児童もいる。

教材の価値 (教材観)

- ・ 勝田神社で虫を探し、捕まえた虫を観察したり、すみかやえさを用意して飼ったりする活動を通して、それらの生息環境や、変化や成長、生き物は生命をもっていることなどに気付き、生き物の立場に立ってすみかや世話の仕方などを考え、生き物への親しみを持ち、大切に世話をすることができることをねらいとしている。
- ・ 継続した関わりから、生き物にも生命があり成長、変化することに気付くことができ、生命の大切さを実感を伴って学ぶことができ意義深い。
- ・ 生き物への思いや自分の頑張りを表現し、お相手さんに伝えることでそれぞれのよさに気付くことができる。



方策・方法 (方法観)

- ◆ 年間計画に基づいて保育園と交流をし、固定のお相手さんと繰り返し関わる。
- ◆ 保育園のお相手さんとの交流をするために、2年生との関わりをモデルとして互いの発表を聞き合い、アドバイスする活動を仕組む。
- ◆ 道徳でも生命の尊さを知り、お相手さんに知らせたいことや自分の思いを国語科で学習を生かし表現する。

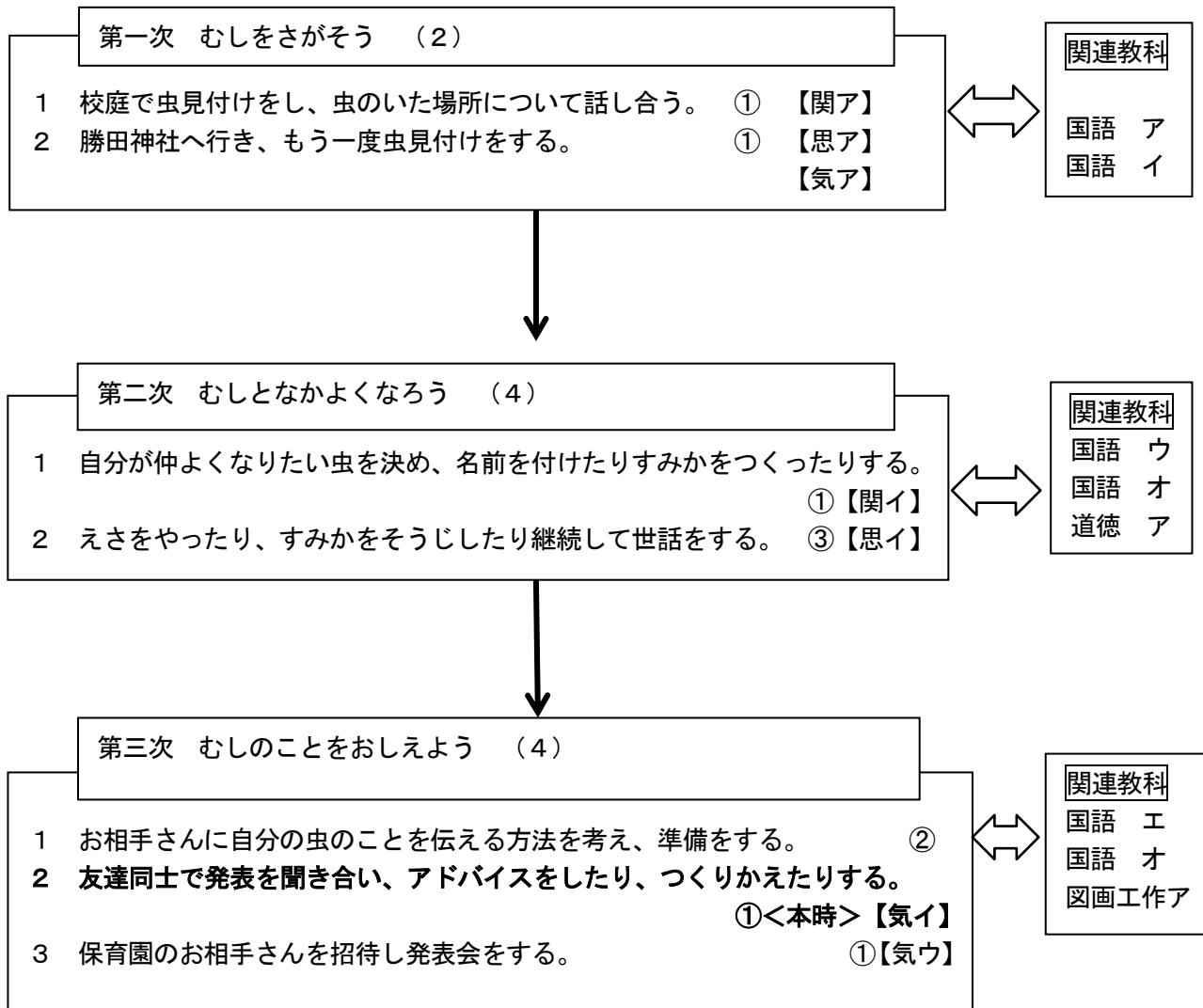
3. 目指す子ども像

- 保育園のお相手さんに関心をもって繰り返しかかわり遊ぼうとする子ども
- 飼育活動の中で、友達と協力することの大切さや生き物のことを考えた世話ができるようになった自分や友達の成長、頑張りに気付く子ども

4. 単元目標と評価規準

	目標	評価規準
生活への 関心・意欲・態度	・ 生物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、親しんだり、大切にしたりしようとする。	ア 生き物に関心を持ち、意欲的に探している。 (行動観察、ワークシート)
	・ 自分の生き物に心を寄せながら、進んで世話をしようとする。	イ 自分の生き物に思いや願いをもって世話をしている。 (行動観察、ワークシート)
活動や体験についての 思考・判断	・ 生き物の育つ場所について考えながら探したり、えさやすみかを工夫して飼育したりすることができる。	ア 虫など生き物の生息場所を考えながら探している。 (発言分析、行動観察)
	・ 思いや願いをもって生き物を飼ったり、世話をしたりしたことを、自分なりの方法を考え、絵や文や動作などで素直に表現し、伝えることができる。	イ 自分の生き物に合ったすみかやえさを考え、世話をしている。 (行動観察、ワークシート)
身近な環境や自分 についての気づき	・ 動きやえさなど生き物の特徴や生き物の育つ場所に気付く。	ア 生き物をつかまえた場所の特徴に気付く。 (発言分析、ワークシート)
	・ 生き物は、生命をもっていることや、成長や変化していることに気付く。	イ 生き物の動きや形、えさなど生き物の特徴や生き物は、命をもっていて成長変化していることに気付く。(発言分析、ワークシート)
	・ 飼育や発表を通して、自分自身の生き方への親しみが増していることや、思いを表現し伝えることができる自分や友達のよさに気付く。	ウ 生き物と関わりあって生活する楽しさや、自分の頑張りが成長に気付く。 (ワークシート)

4. 学習指導計画（総時数10時間）



5. 他教科等との関連

関連場面	教科等	単 元 等	学習活動
第一次 第1時	国 語	みいつけた	ア 挿絵を見ながら、自分の経験を基に公園や草むらなどで見かける小さな生き物について話し合う。 イ 一つのまとまりが「いるところ」「特徴」「みつけかた」の順になっていることに気付きながら、内容の大体を読み取る。 ウ 「いるところ」「とくちょう」など観点に沿って生き物カードを書く。
第二次 第1時	道 徳	ハムスターのあかちゃん	ア 動物の赤ちゃんの生きているようすを知ることで生命の大切さに気付き、生命を大切にしようとする。
第三次 第1～4時	国 語	おはなしきいて	エ 相手に応じて、話す順序を順序立てて丁寧な言葉で話す。 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。
第三次 第1～3時	国 語	しらせたいな見せたいな	オ 書こうとする題材に必要な事柄（名前、色、形、様子などの特徴）をよく観察して書く。
第三次 第1～3時	図画工作	どうぐばこ・パレットコーナー	ア 道具の安全な使い方やいろいろな作り方を知り、表したいものを作る。

6. 本時の学習 平成26年10月 9日(木曜日) 3 校時 於: 1年教室

(1) 主眼

発表を聞き合い、アドバイスする活動を通して、自分の発表を見直し、お相手さんに自分の生き物のことをより分かりやすく伝えようと工夫することができるようにする。

(2) 展開

主な学習活動	支援・指導上の留意点(評価規準・評価方法)	他教科との関連
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">めあて</div>	<p>○ 前時までに、自分の虫についてお相手さんに伝える発表資料をつくったことを想起させる。本時は、1年生全員で発表し合い、わかりやすく伝えるためにアドバイスをし合う時間であることを確かめる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">発表のリハーサルをして、もっとわかりやすくするためにアドバイスをし合おう</div>		
<p>2. 自分が仲よくなった虫について、発表したり、聞いたりしてアドバイスし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ(4人)に分かれて順番に発表する。 ・ よかったところ、手直しをしたほうがよいところを伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ クイズが楽しいね。 ・ 絵が分かりやすいね。 ・ もっとゆっくり話すといいよ。 </div>	<p>○ 話すポイント、聞くポイントを確かめる。 話す… 自分の思いを自分の言葉で伝える。 聞く… よいところや手直しをしたほうがよいところに気を付けて聞く。</p> <p>○ 発表した児童に対して、よかったところ、手直しをしたほうがよいところを一人ずつ発言させる。</p> <p>○ 友達からのアドバイスをワークシートに書くようにさせる。</p> <p>○ お相手さんのことを考えて、つくったり、発表したりしている児童を賞賛することを通して、自分自身のよさや頑張りに気付くことができるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年国語 [おはなしきいて] [身に付けた知恵や技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に応じて、話すことを順序立てて丁寧な言葉で話す。 ・ 大事なことを落とさずに、興味をもって聞く。 </div>
<p>3. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんは、声が大きくてわかりやすいね。 ・ お相手さんにも分かりやすくゆっくり言ってたよ。 ・ みんなに拍手をしてもらって嬉しいな。 ・ お相手さんの近くで見せるといいね。 ・ アドバイスをもらったから○○をつくりかえよう。 </div>	<p>○ 自分の工夫や友達からのアドバイス、友達のよさをワークシートに書き、全体に紹介することで次時へ向けて意欲を高める。</p> <p>○ ワークシートをもとに、頑張ったことや気付いたこと、お相手さんへの思いなどを発表できるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年国語 [しらせたいな見せたいな] [身に付けた知恵や技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書こうとする題材に必要な事柄(名前、色、形、様子などの特徴)をよく観察して書く。 </div>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p style="text-align: center;">【活動や体験についての思考・判断】</p> <p style="text-align: center;">お相手さんにより伝わるように、友達からのアドバイスを生かし、発表資料の見直しをしたり、発表の仕方を工夫したりしようとしている。 (行動観察、発言、ワークシート)</p>		